

NetSupport Assist

マニュアル – 1.30

マニュアルの著作権 (C) 2016 NetSupport Ltd. 無断転載を禁ず。

この文書に書かれている情報は、予告なしに変更されることがあります。NetSupport Ltd はこの文書を改訂したり随時内容を変更する権利を持ち、そうした改訂や変更をお客様に通知する責務を負いません。

この文書に記述されているソフトウェアは、国際著作権条約で保護されており、ライセンス規約の下に提供されています。ライセンス契約書に記載されて利用方法でのみこの送付とウェアを使用することができ、バックアップを目的とする場合に限ってバックアップを作成することができます。

商業的または特定の目的に適合することの保証を含むどのような暗黙的な保証も、ライセンス契約書に明示的に記載されている保証条項に制限されます。

プログラムの著作権 (C) 1991-2016 NetSupport Ltd. 無断転載を禁ず。

商標

NetSupport は NetSupport Ltd.の登録商標です。

その他の製品、商標、登録商標はそれらを所有する各社に帰属します。

ソフトウェアライセンス使用許諾契約書

NetSupport ソフトウェアをインストールもしくはお使いになる前に本契約書をよくお読みください。本使用許諾契約書は、お客様と NetSupport Ltd 間で締結する法的な契約書です。お客様が本契約書の条件に同意できない場合は、本ソフトウェアを起動、実行、使用することはできません。

期間: 解約条項の解除を条件として使用許諾は半永久的なものとする。

ライセンスの許諾: 本ソフトウェアはスタンドアローンコンピュータやコンピュータネットワーク上で動作するように設計されています。ネットワークファイルサーバからソフトウェアを起動できますが、ソフトウェアをインストールもしくは実行する各コンピュータ分のライセンスを購入しなければなりません。

著作権: 本ソフトウェアは国際著作権保護法により保護されています。バックアップ目的以外製品をコピーすることはできません。ソフトウェアはお客様に使用許諾を与えているものであり販売したものではありません。

禁止事項: お客様はライセンス製品を販売、レンタル、リース、あるいは本ソフトウェアのライセンスを第三者に移転することはできません。NetSupport Ltd の事前の承諾書がある場合を除き、本ソフトウェアを変更、アッセンブル、リバースエンジニアリングすることはできません。

制限保証: NetSupport Ltd は、付属のマニュアルにしたがって本ソフトウェアが動作しない場合、ご購入後 90 日の間に限り、NetSupport の判断に基づき、a) ソフトウェアの交換 または b) 代金の返還に対応するものとします。但し、お客様が本製品の購入を証明できることを条件とします。

本契約書に規定されていない、特定の目的に対する質と適合性を含むその他の保証は一切いたしません。NetSupport Ltd はいかなる場合において法律上の請求の原因の種類に問わず、本契約書に規定されていないいかなる他の損害(利益、データ、または情報の損失やそのような損害)に対してに一切責任を負わないものとします。問題が起こりうる可能性を指摘されているソフトウェアの使用により発生した場合も同様です。いかなる場合においても、NetSupport Ltd の責任はお客様が実際に支払った金額を上限とします。

解除: お客様は、プログラム本体、その複製物および書類等すべてを破棄することにより、いかなる時点に於いても本契約を解除することができます。

NetSupport Ltd は、お客様の行為が本契約書の条項に著しく違反すると判断した場合、文書を以て契約解除の通告を行うことができます。お客様は NetSupport Ltd から解除通告文書受領後 30 日以内に本ソフトウェアのオリジナル及すべての複製物を破壊し、また破棄が行われたことを書面に報告してください。

サポート: ソフトウェアのインストールに問題が発生した場合、まずは販売店にお問合せください。修正やアップグレードの提供を保証する保守とサポートを別途ご購入していただくことが可能です。

準拠法: 本契約書は英国法により定められています。

目次

規則性	6
専門用語	6
インストール	7
システム条件	7
インストール前	7
インストールを開始する	8
セットアップの種類の選択	9
NetSupport Assist を起動する	11
NetSupport Assist を起動する	11
コントロールウィンドウ	12
出席確認	14
生徒を検索して接続する	17
部屋モードで生徒に接続する	18
生徒リスト	19
アクティブセッションからのクライアントの切断	20
iOS 生徒のインストールと設定	21
NetSupport Assist でサブネット検索の設定をする	22
IP アドレスを理解する	23
NETSUPPORT ASSIST を使用する	25
生徒のマウスとキーボードをロック/解除する	26
ロック時にクライアントのモニタをブランク状態にするには	26
クライアントのコンピュータをロック時に画像を表示するには	27
生徒の画面を見る	29
モニタモード	31
画面キャプチャ	34
画面受信中の生徒画面をキャプチャする	34
生徒に先生の画面を送信する	35
生徒とチャットをする	38
チャットウィンドウ	40
生徒にメッセージを送信する	42
電源管理	44
生徒機の電源を入れる	44
生徒機の電源を切る	44
生徒を再起動またはログアウトする	46

ファイルを転送する	47
先生コンソールのファイル転送設定	49
教材の配布と回収	52
教材を配布する	52
教材を回収する	53
ウェブ監視	56
インターネットへのアクセスを制限/禁止	57
アプリケーション監視	58
アンケート	59
アンケートリスト	61
生徒のコンピュータを設定する	63
生徒の全般設定	64
生徒ユーザーインターフェイス設定	65
生徒機の拡張設定	66
先生コンソールを設定する	68
先生の全般設定	69
生徒の選択設定	71
先生コンソールのパフォーマンス設定	72
先生コンソールのユーザーインターフェイス設定	73
ご意見・ご感想	75

規則性

以下の論理的で理解しやすい規則が本マニュアル内で使用されています: -

- ステップバイステップの説明で使用方法の題目の下に番号順の操作内容が表記されています。
- タスクの操作方法が何通りか存在する場合は「または」のオプションで操作方法を紹介しています。
- それぞれの説明に関してヒントや補足説明がある場合は「注意」と題し境界線の下に説明を明記しています。
- メニュー選択については、[] (かぎ括弧) で囲ってあります。例えば、メニュー項目“クライアント”の中からサブメニュー項目“メッセージ”を選択する場合、[生徒]メニューの[メッセージ]と記述しています。

専門用語

コントロール/先生	他のコンピュータを操作するコンピュータを指します。
クライアント/生徒	操作されるコンピュータを指します。
利用可能なクライアント	コンピュータにクライアントをインストールすると、コントロールに接続可能な状態になります。コントロールが接続する前にクライアントは接続可能な状態になっている必要があります。
既知のクライアント	利用可能なクライアントを検索すると、NetSupport は、ファイル名 “Client.NSS” にクライアントのリストを保存します。それが既知のクライアントです。
接続中のクライアント	すべての利用可能なクライアント、またはグループに同時に接続できます。接続しているクライアントに対してコントロールはリモートコントロール可能です。
選択したクライアント	クライアントまたは接続しているクライアントのグループは、コントロールによって選択されます。その後、コントロールは画面受信、画面送信そしてメッセージ等の様々な機能を実行することができます。

インストール

システム条件

Mac

Mac: プロセッサ: Intel のみ | オペレーティングシステム: Mac OS X 10.9 およびそれ以降 (Mavericks、Yosemite、El Capitan)。 (このインストールを完了するには管理者権限パスワードが必要です。)

iOS 用生徒アプリはバージョン 6 以降が動作している iOS デバイスに対応しています。

インストール前

生徒用環境設定

NetSupport Assist で設定した生徒が既にある場合、Client32.ini ファイルをコピーしてインストーラの隣にこれを配置します。これは、既に設定済みの生徒で適用した同じ構成設定で生徒をインストールします。

Client32.ini がある場所:

/Applications/NetSupport/NetSupportAssist

ライセンス

NSA.LIC ファイルのコピーがある場合、インストーラの隣にこれを配置します。これはインストール中にライセンス情報を入力せずに NetSupport Assist のライセンスのコピーをインストールします。

インストールを開始する

NetSupport Assist は標準的な Mac .DMG ディスクイメージで提供されています。マウントされていない場合、マシンにマウントするディスクイメージをダブルクリックします。このイメージ内には NetSupport Assist のインストーラがあり、インストールを開始するにはこのファイルをダブルクリックします。

ドロップダウンメニューから該当する言語を選択し、NetSupport Assist をインストールするには、[OK]を選択します。

NetSupport ライセンス使用許諾

NetSupport Assist の使用許諾契約書が表示されますライセンス使用許諾書をよく注意してお読みください。続行するには、[次へ]をクリックします。

使用許諾契約書に同意しない場合は、[ライセンス使用許諾書に同意しない] を選択して、[キャンセル] をクリックしてください。NetSupport Assist はインストールされません。画面の指示に従い、インストールプログラムを終了してください。

ライセンス情報

希望のライセンス方法を選びます。NetSupport Assist のライセンスを既にお持ちの場合は、「登録」を選択、一方 NetSupport Assist を評価する場合は、30 日評価オプションを選択して「次へ」をクリックします。

既にインストールされています

NetSupport Assist がマシンに既にインストールされている場合、この画面が表示されます。

インストーラは入力を要求します。続行する場合は、既にシステムにある NetSupport Assist ファイルを自動的にアンインストールしてインストールを続行するには「OK」をクリックします。

注意: 環境設定とライセンスファイルは削除されません。

セットアップの種類を選択

コンピュータにインストールするセットアップの種類を選択します。



標準

このオプションは先生、生徒、生徒用環境設定そしてヘルプファイルをインストールします。このオプションは多くの場合「フルインストール」を呼ばれています。

生徒

生徒用のソフトウェアと生徒用の構成設定をインストールします。この機能は、クライアントとも呼ばれ、リモートコントロールされるワークステーションにインストールする必要があります。

先生コンソール

先生用のソフトウェアをインストールします。このコンポーネントはコントロールともいい、他のパソコンをリモートコントロールする側のパソコンで使用します。

部屋の確認

生徒のマシンを検索したい部屋の値を入力します。デフォルトでは、部屋の値は Eval となっています。後で先生または生徒用環境設定の設定で部屋の値を更新することができます。

注意: 新しいインストールのときだけ、これが表示されます。アップグレードしたシステムは既存の部屋の名前を維持します。

続行するには、[次へ] をクリックします。

プログラムのインストール

インストールを開始するには、インストールをクリックします。前の設定項目を変更する場合は、[戻る] をクリックしてください。インストールを取りやめる場合は、[キャンセル] をクリックします。

Dock にアイコンを追加する

先生をインストールすると、Assist を Dock に追加するオプションがあります。

注意: このオプションは Mac にインストールするときだけにだけ表示されます。

インストール完了

インストールを完了するには、セットアッププログラムを閉じるために「完了」をクリックします。

インストールが完了すると、マシンの再起動を要求されます。セットアップを完了するためにこれは必要になります。

NetSupport Assist を起動する

この章では NetSupport Assist の開始方法を紹介します。

NetSupport Assist を使用する上で覚えておかなければならないポイントは他のコンピュータを操作するコンピュータのことをコントロールまたは先生を呼び、操作されるコンピュータのことをクライアントまたは生徒を呼びます。

注意: この章は、NetSupport Assist が既にインストールされていることを前提としています。もしまだの場合は、「インストールセクション」を参照してください。

NetSupport Assist を起動する

インストール後、システムが起動すると生徒ワークステーションのクライアントプログラムが自動的に読み込まれます。

ヨングループの NetSupport Assist アイコンをダブルクリックします。Mac をお使いで、「Dock アイコンを追加」を選択している場合は、Dock から Assist アイコンをクリックします。

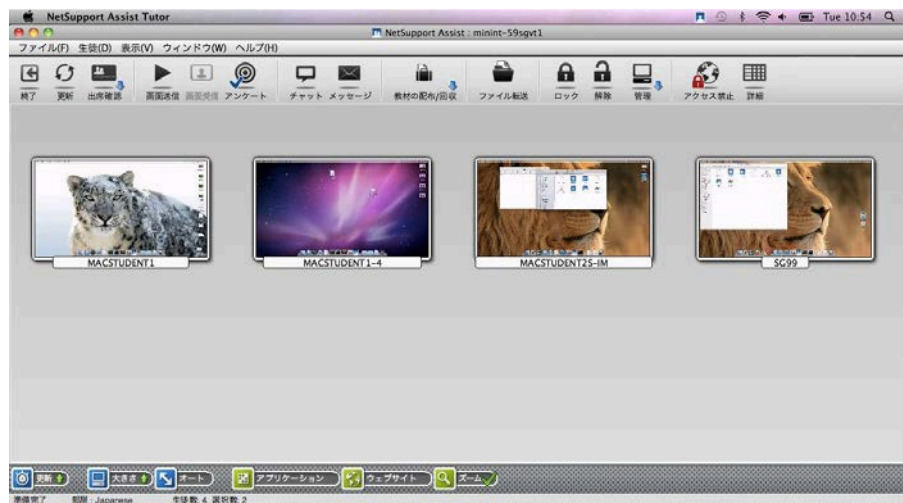
注意: 先生の設定で起動時に接続するクライアントを指定できます、コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから{ファイル}{環境設定}{生徒の選択}を選びます。

先生プログラムを起動すると、NetSupport Assist は指定した生徒をネットワーク検索します。検索中は検索メッセージが表示されます。

コントロールウィンドウ

主な役割: -

- コントロールを設定する;
- 生徒のコンピュータに接続する;
- 操作する生徒のコンピュータを選択する;
- 実行する操作を選択する;



タイトルバー

コントロール名が表示され、これが NetSupport Assist のコントロールウィンドウであることを示しています。

メニューバー

ファイル(F) 生徒(D) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

メニューバーは豊富なツールや設定ツールにアクセスできるメニューの集まりで構成されています。これらのメニューは一緒に操作をする生徒機を選択するだけでなく、ワークグループに生徒機をまとめたり、管理する際にも使用します。

ツールバー



使用頻度の高いタスクやツールへのショートカットで構成されています。アイコンをクリックするだけで、素早くタスクや機能を実行できます。アイコン上にマウスポインタを重ねると、その機能の簡単な説明を表示します。

一覧表示



一覧表示は、現在接続中の生徒機またはグループが表示されます。コントロールウィンドウの{表示}ドロップダウンメニューから、縮小画面モードと詳細モードの表示モードを切り替えることができます。

注意： 生徒名は 出席確認 機能を使ってカスタマイズすることも可能です。

ステータスバー

準備完了 部屋 : Japanese 生徒数: 4, 選択数: 2

ウィンドウの下部にステータスバーを表示します。コントロールの状態と現在の接続クライアント数を表示します。

ステータスバーを有効/無効にするには、{表示}{ステータスバー}を選びます。

出席確認

デフォルトでは、NetSupport Assist は、コントロールウィンドウにクライアントパソコンのコンピュータ名を表示します。しかし、コントロールに生徒の実際の名前を表示したり、追加情報を要求したい場合もあるかもしれません。

出席確認オプションは、先生が生徒に自分達の詳細を入力するようにさせることができます。

生徒にログインダイアログを表示するには:

1. 特定の生徒の詳細が必要な場合、コントロールウィンドウで関連するクライアントアイコンを選択します。また、接続しているすべての生徒に入力させるには、アイコンを選択しないでください。
2. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから{ファイル} {出席確認}を選択します。
または
ツールバーの「出席確認」アイコンをクリックします。
3. 利用可能なオプションから「サインイン」を選択します。
4. 出席確認ダイアログ が表示されます。それから、先生は生徒が入力する必要がある情報を選択することができます。

注意: クラスウィザードの「出席確認を作成する」にチェックが付いている場合も、出席確認が表示されます。

[出席確認] 画面

このダイアログは生徒が自分の詳細を入力できるカスタマイズ登録フォームを先生が作成できるようになります。

クラス詳細

必要に応じて、先生の名前、授業の題名そして部屋番号を生徒たちに送信する登録フォームに含めることができます。

注意: 教室モードで生徒に接続している場合は、教室フィールドが開始時に指定した教室を表示します。これは変更できません。

生徒詳細

生徒が入力する内容を選択します。フォームにフィールドを 2 つ追加することもできます。

注意: [ログオンユーザー名を取得する] を選択した場合は、姓名と名前がグレイアウトになります。生徒名は自動的にログイン名をデフォルトにします。

出席確認を自動的に保存する

このオプションをクリックすることで、登録レポートのコピーを保存することができます。レポートのコピーを保存したい場合は、このオプションにチェックをします。ファイル名、保存先、ファイルフォーマット (CSV, HTML または XML) を入力します。

生徒にフォームを送信するには、[登録] をクリックします。生徒の進行状況をモニタできます。生徒全員がサインインしたら [閉じる] をクリックします。クライアントのアイコンが登録した名前が表示されます。

サインアウト

授業の終わりに、「サインアウト」オプションを使用してクライアント名をリセットすることができます。

1. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから{ファイル}{出席確認}を選択します。
または
ツールバーの「出席確認」をクリックします。
2. 利用可能なオプションから「サインアウト」を選びます。生徒の登録を解除することを確認します。

出席確認レポート

出席確認の詳細はレポートに保存することができます。レポートを保存するには、生徒の情報を要求する際の出席確認ダイアログで登録の自動保存オプションが有効になっていることを確認してください。レポートは CSV、HTML または XML 形式で保存することができます。

生徒のログイン名を表示するには

生徒の詳細を登録するときに、生徒たちに実際の名前を入力させずにログイン名をデフォルトにすることができます。

1. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから{ファイル}{環境設定 - ユーザーインターフェイス}を選択します。
2. 「生徒のユーザー名を表示する」にチェックを付けます。
3. 「OK」をクリックします。

生徒のログイン名を保存するには

生徒のログイン名を保存することができます。

1. メニューから{ファイル}{環境設定 - ユーザーインターフェイス}を選択します。
2. [生徒のユーザー/ログイン名を記憶する] にチェックをします。
3. [OK] をクリックします。

生徒を検索して接続する

コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから{ファイル}{環境設定}のコントロール設定ダイアログを使って開始時の接続方法と接続するクライアント(生徒機)を指定できます。以下の方法があります：

- ネットワークを検索して、特定の文字列のクライアントに接続する。
- クライアントリストに接続する。
- 特定の教室のクライアントに接続します。

注意：クライアントが見つからない場合は、指定したネットワークを検索するように NetSupport Assist を設定していない可能性があります。詳しくは NetSupport Assist のサブネット検索の設定 を参照してください。

クライアントを検索して接続するには

1. メニューから{ファイル}{環境設定}を選択します。
2. スタート生徒の選択。
3. [起動時に生徒機を検索して接続する] にチェックをします。
4. 接続したいクライアント名の最初の文字列を入力します。例えば、Class1 と入力するとクライアント名が Class1 で始まるすべてのコンピュータに接続します。
5. [OK] をクリックします。
6. コントロールの設定を有効にするには、[はい] をクリックします。
7. コントロールは見つかったすべてのクライアントに接続して、リストビューにアイコンを表示します。クライアントはクライアントリストに追加されます。

注意

- コントロールの初期化時にコンピュータが利用可能な状態でなかった場合は、ツールバーの [更新] アイコンをダブルクリックして接続できます。ビューリストにある [リフレッシュ] アイコンをクリックすると、ネットワーク上で接続可能な生徒機が再検索され、先生の設定情報に設定されているクライアント名に該当する 生徒機が見つかると接続されます。
 - 接続時にクライアントのコンピュータにメッセージを表示させることもできます。本マニュアルの「クライアントを設定する」を参照してください。
-

クライアントリストのクライアントに接続するには

1. メニューから[ファイル] [環境設定]を選択します。
2. スタート生徒の選択。
3. [生徒リストの生徒に接続する] にチェックをします。
4. [OK] をクリックします。
5. コントロール設定を再起度するには、[はい] をクリックします。
6. コントロールは見つかったすべてのクライアントに接続してリストビューにアイコンを表示します。クライアントはクライアントリストに追加されます。

部屋モードで生徒に接続する

NetSupport Assist は、特定の部屋にあるマシンに接続するための素早く簡単な方法を提供します。直感的な設定ウィザードが特定の教室に PC を割り当て、それらのマシンに生徒プログラムを素早く配布するのを可能にします。授業の始めに、先生は接続したい部屋を単純に指定するだけです。

部屋設定は、NetSupport Assist クライアント設定の生徒項目で設定もできます。

生徒に接続するには

1. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから[スクール] [環境設定]を選びます。
2. [生徒の選択]を選びます。
3. [部屋内の生徒に接続する]オプションをクリックして部屋の名前を入力します。
4. 先生コンソールを開始する毎に先生に部屋の値を入力させたい場合は、[開始時に入力する]をクリックします。
5. OK をクリックします。
6. 先生の設定を再初期化するには、[はい] をクリックします。
7. 先生は、見つかったすべての生徒に接続し、コントロールウィンドウに生徒アイコンを表示します。

生徒リスト

ネットワーク上で検索された接続可能な生徒のリストを、「生徒リスト」と呼びます。この情報は Client.nss というファイルに保存されており、[生徒リストを修正]ダイアログボックスを使ってファイルの内容を編集できます。

注意: 生徒リストの編集ダイアログは、固定リスト接続モードまたは教室接続モードの発行を使用するときだけ利用できます。NetSupport Assist 先生構成設定で、これらのモードを切り替えることができます。

接続できるクライアントをリストに追加するには

1. [ファイル]メニューの[生徒リストの編集]をクリックします。
2. [生徒リストの修正]ダイアログボックスが表示されます。
3. [検索]ボタンの左側のテキストボックスに、クライアント名の最初の数文字を入力します。
4. [検索]ボタンをクリックします。
5. 検索中のメッセージが表示されます。
6. 該当する全生徒機が[接続できる生徒]リストに表示されます。
7. クライアントアイコンを選択して [追加] をクリックします。
8. 選択した生徒が、[生徒リスト]に追加されます。
9. [閉じる]をクリックします。
10. 既知の生徒機に再接続を行います。コントロールウィンドウに生徒機アイコンが表示されます。

クライアントをリストから削除するには

1. コントロールウィンドウのメニューから{ファイル}{生徒リストの編集}を選びます。
2. [生徒リストの編集]ダイアログボックスが表示されます。
3. 削除する生徒を[生徒リスト]から選択します。
4. [削除]ボタンをクリックします。
5. 選択した生徒が[生徒リスト]から[接続できる生徒]リストに移動します。
6. [閉じる]をクリックします。
7. クライアントアイコンはリストビューから削除されます。

注意: 一度削除した生徒と接続するには、再度検索を実行して生徒リストに追加します。

アクティブセッションからのクライアントの切断

アクティブセッション中に、例えば、生徒がコンピュータを再起動してしまうといったような不意に生徒が切断されてしまうことがあります。生徒が切断された場合、切断メッセージが表示されるようになっていますが、設定で無効にすることが可能です。

切断メッセージを無効にする

1. メニューから[ファイル] [環境設定・ユーザーインターフェイス]を選択します。
2. [サイレント切断] オプションを選択して [OK] をクリックします。次から生徒のコンピュータが切断されてもメッセージが表示されません。

注意: 接続できる生徒に自動的に再接続するには、先生のコンピュータでユーザーインターフェイスの [生徒に自動的に再接続する] が選択されていることを確認してください。

iOS 生徒のインストールと設定

コンピュータ主導の指導の効果を最大限に高めるために必要なツールを提供し、iOS デバイスで NetSupport Assist の電源機能を利 用することができます。

iOS 生徒は、各 iOS デバイスにインストールすることができます。先生のデスクトップからは、迅速かつ効率的に各生徒との相互作用できるように各システムに接続することができます。

iOS 生徒アプリは iOS v6.0 以降で動作し、iTuens ストアで無料でご利用いただけます。

iOS 用生徒のセットアップと設定

デバイスからパスワード要求で保護された教室の接続設定で各デバイスを事前に設定するか、または NetSupport Assist 先生プログラム内から各デバイスに設定をプッシュすることができます：

1. コントロールのドロップダウンウィンドウから{ファイル}{タブレットは}{生徒設定の適用}を選択します。
2. 生徒の設定ダイアログが表示されます。
3. 設定を送信したい生徒を選びます。
4. 構成設定を変更するには「変更」をクリックします。
5. 生徒の設定変更ダイアログが表示されます。
6. 必要なオプションを設定して保存をクリックします。
7. iOS デバイス側で既にパスワードが設定されている場合は、それを入力します。
8. 送信をクリックします。
9. 部屋モードで iOS の生徒を検索することができますようになります。

iOS でサポートしている機能：

- 生徒の登録。
- 授業の目標。
- 先生からのメッセージを受信。
- 生徒のヘルプ依頼。
- グループまたは1対1のチャット。
- 生徒アンケート。
- リアルタイムでの指示(画面送信モード)。
- バッテリーの表示。
- 生徒の縮小画面。*
- 生徒画面の表示。*

*iOS Enterprise version.

NetSupport Assist でサブネット検索の設定をする

お使いのネットワークが複数の TCP/IP サブネットから構成されている場合は、クライアント検索時に追加サブネットを使用するように NetSupport Assist を設定する必要があります。

リモート IP サブネット上を検索できるように NetSupport Assist を設定する前に、IP アドレスの構成と特に IP ブロードキャストアドレスとは何かを理解しておくと便利です。参照：IP アドレスを理解する

NetSupport Assist コントロールが IP サブネットを検索できるように設定するには

NetSupport Assist コントロールが IP サブネットを検索できるように設定するには

1. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから{ファイル} {環境設定}を選択します。
2. 環境設定オプションから{全般}を選択します。
3. 検索項目の [設定] ボタンをクリックします。
4. 設定 TCP/IP クライアント検索ダイアログが表示されます。
5. 追加をクリックして検索したいネットワークのブロードキャストアドレスを入力します。
6. [OK] をクリックします。

注意:

- リモートサブネットのアドレスを追加する時は、ローカルサブネットのブロードキャストアドレスも表示されていることを必ず確認してください。表示されていない場合は、検索時にコントロールはローカルクライアントを検索しません。
 - お使いのネットワークルーターによっては LAN 接続のブロードキャストパケットを遮断してしまう場合があります。この場合は、コントロールが正しく設定されていてもリモートサブネットを検索することはできません。
-

IP アドレスを理解する

IP アドレスは 4 バイトで構成され、各バイトは 0 または 1 の値を持つ 8 個のビットで構成されています。そのため、IP アドレスは 0.0.0.0 から 255.255.255.255 までのどれかとなります。

IP アドレスはデバイスが存在するネットワークを表すネットワークアドレスと、デバイスそのものを指すホストアドレスで構成されます。

サブネットマスクは、何ビットをネットワークアドレスに使用するかを定義する 4 バイトの数値です。サブネットマスクの各ビットのうち、1 になっているビットは、IP アドレスの対応するビットがネットワークアドレスの一部であることを表します。

例えば、IP アドレスが 10.10.2.21 で、サブネットマスクが 255.255.255.0 のときは、以下のようになります

IP アドレス	10	.	10	.	2	.	21
サブネットマスク	255	.	255	.	255	.	0
IP アドレス (バイナリ)	00001010.00001010.00000010.00010101						
サブネットマスク (バイナリ)	11111111.11111111.11111111.00000000						
IP アドレスのネットワークポーション	00001010.00001010.00000010.00000000						
IP アドレスのホストポーション	00000000.00000000.00000000.00010101						
IP アドレスのネットワークポーション	10	.	10	.	2	.	0
IP アドレスのホストポーション	0	.	0	.	0	.	21

従って、IP パケットを 10.10.2.21 に送信すると、実際にはネットワーク 10.10.2.0 上のデバイス 21 にパケットが送信されます。

上の例では、ネットワーク 10.10.2.0 には 256 (0 から 255) のホストアドレスが存在できますが、そのうちの 0 と 255 は予約されています。全てのビットが 0 に設定されているホストアドレスはネットワークアドレス、全てのビットが 1 に設定されているホストアドレスはブロードキャストアドレスとなります。

IP アドレスが 10.10.2.0 のネットワークでは;

10.10.2.0 がネットワークアドレスで

10.10.2.255 がブロードキャストアドレスになります。

IP パケットが、ネットワークブロードキャストアドレスに送信されると、その IP ネットワーク上のすべてのデバイスが、このパケットを受信します。

ローカルのアドレスの他に IP サブネットを検索するように NetSupport コントロールを設定する時に、この IP ネットワークブロードキャストアドレスを使用します。

NETSUPPORT ASSIST を使用する

この章では...

コントロールユーザーが利用可能な豊富な機能の使い方を解説します。リモートコントロールの始め方からエンドユーザーのデスクトップのモニタや操作の管理方法までを解説します。

生徒のマウスとキーボードをロック/解除する

クライアントのキーボードとマウスをロックしたい場合があるかもしれません。ただし接続中の生徒機だけ有効です。

キーボードとマウスは、必要に応じて 個別にロック できます。メニューから{表示}{現在の設定 - ユーザーインターフェイス}を選択します。

クライアントをロックするには

1. ロックしたいクライアント、またはグループを選択します。
2. コントロールウィンドウのメニューから{生徒}{キーボード/マウスのロック}を選択します。
または
ツールバーの[ロック]アイコンをクリックします。
または
選択したクライアントアイコンを右クリックして[ロック]を選択します。
3. デフォルトでは、マウスとキーボードのロックを通知する画像がクライアントのコンピュータに表示されます。

注意: 代わりにクライアントの画面を空白(ブランク)にするオプションがあります。

クライアントのロックを解除するには

1. コントロールウィンドウのメニューから{生徒}{環境設定 - ユーザーインターフェイス}をクリックします。
または
ツールバーの[ロック解除]を選択します。
または
選択したクライアントアイコンを右クリックして[ロック解除]を選択します。

注意: ロックはログアウトしている Mac の生徒では機能しません。

ロック時にクライアントのモニタをブランク状態にするには

1. メニューから{ ファイル } - { 環境設定 - ユーザーインターフェイス }を選択します。
2. [キーボード/マウスのロック時はブランク] にチェックをします。
3. [OK] をクリックします。
4. ロックしたいクライアント、またはグループを選択します。
5. メニューから{生徒}{キーボード/マウスのロック}を選択します。
または
ツールバーの[ロック]アイコンをクリックします。

注意: ブランク画面はログアウトしている Mac の生徒では機能しません。

クライアントのコンピュータをロック時に画像を表示するには

ロック時に生徒のコンピュータに画像を表示させることができます。クライアントのキーボードとマウスがロックされるとデフォルトの画像 "nss_image.jpg" が表示されます。



1. メニューから{ ファイル } - { 環境設定 - ユーザーインターフェイス } を選択します。
2. [マウス/キーボードのロック時に画像を表示する] を選択します。
3. [OK] をクリックします。
4. ロックしたいクライアントまたはグループを選択します。
5. メニューから{ 生徒 } { キーボード/マウスのロック } を選択します。
または
ツールバーの [ロック] アイコンをクリックします。

注意:

- ロック中のクライアントをビューすると、クライアント画面に画像を表示は無効になります。
 - クライアントのコンピュータに画像ファイルがない場合は、フラッシュメッセージ「このコンピュータは、コントロールユーザーによりロックされています。」が替わりに表示されます。
 - ログアウトしている Mac の生徒ではロック用の画像が表示されません。
-

クライアント設定を使って画像を変更することができます。

1. クライアント設定で{拡張 - 画像オプション}を選択します。
2. 画像ファイルには既定のファイル名が表示されます。
3. ファイルを選択して開くには、[参照] をクリックします。
4. 画像ファイルには新しいファイル名を表示します。
5. [OK] をクリックします。

生徒の画面を見る

生徒に接続すると、その生徒の画面を先生コンソールで見ながらリモートコントロールできるようになります。この状態を画面受信といい、生徒の画面が表示されるウィンドウを画面受信ウィンドウといいます。複数の生徒の画面受信ウィンドウを同時に表示することができます。

クライアントを画面受信するには

1. リストビュー内のクライアントアイコンをダブルクリックします。
または
該当するアイコンを選択したら、メニューで{生徒}{画面受信}を選択します。
またはツールバーの[画面受信]アイコンをクリックします。
または
クライアントアイコンを右クリックして、[画面受信]を選択します。
または
クイック表示バーのクライアント名をクリックします。
2. コントロールにクライアント画面受信ウィンドウが表示されます。



画面受信を終了して先生コンソールウィンドウに戻るには

1. メニューから{クライアント}{閉じる}を選択します。

画面受信には 2 つのモードがあります：

- 共有** クライアント画面がコントロールとクライアント両方に表示されます。コントロールとクライアントはキーボード入力とマウス操作を行えます。
- 観察** クライアント画面がコントロールとクライアント両方に表示されます。クライアントだけがキーボード入力とマウス操作を行えます。コントロールユーザーは画面には生徒の一切の操作を行えません。

画面受信モードを変更するには

1. 画面受信中にツールバーの[画面受信]アイコン{共有}、{観察}のどれかを選択します。
または
画面受信ウィンドウのメニューから{クライアント}{共有/観察}を選択します。

その他の画面受信ウィンドウオプション：

画面サイズ

生徒機の画面解像度が先生コンソールの画面解像度より大きい場合、先生コンソールの画面受信ウィンドウに合わせて画面サイズを調整できます。画面受信ウィンドウで[表示]メニューの[画面サイズ]をクリックするか、ツールバーの[画面サイズ]アイコンをクリックします。

モニタモード

デフォルトの先生モードのモニタモードでは、先生は同時に複数の生徒の画面を表示することができます。



接続中の各生徒の画面を便利な縮小画面で先生コンソールに表示するので素早く簡単な方法で生徒の行動をモニタできます。監視モード中でも、先生は画面受信やチャットなどの豊富な NetSupport Assist の機能にアクセスできます。

リストビューは各生徒の縮小画面を表示します。マウスを縮小画面に重ねるとその画面を拡大することができます。縮小画面をダブルクリックすると選択した生徒画面を受信します。右クリックで利用できる機能から選択することが可能です。例: 複数の縮小画面を選択して生徒達をチャットに招待する。

リストビューではいくつかの異なる方法で生徒アイコンを表示させることができます。[表示] [縮小画面モード/詳細モード] を選択するか、リストビュー内で右クリックして生徒アイコンの表示の仕方を変更します。

注意: ズーム機能はメニューから[表示] [ズームモード]を選択することでオン/オフの切り替えが可能です。または、コントロールウィンドウ下部の「ズームイン」アイコンをクリックしてください。

モニタモードには以下のツールがあります:

レイアウトに(自由に)配置 Arrange to Layout

教室の配置を反映するようにコントロールの一覧表示内の生徒の縮小画面を並べ替えることができます。

1. 希望の配置に生徒の縮小画面を並べ替えます。
2. 次回、先生を開くときに、コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから[表示] [自由に配置]を選択します。
3. 生徒の縮小画面が最後に記憶した配置に戻ります。

注意: デフォルトのレイアウトに戻すには、コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから[表示] [自動配置]を選択します。

縮小画面のサイズのカスタマイズ

縮小画面は好みに合わせてサイズ変更が可能です。大量の生徒 PC に接続時は特に便利です。

1. コントロールウィンドウのメニューから[表示] [大きさ]を選択します。
2. オプションからお好みのサイズを選択します。

または

1. コントロールウィンドウ下部にある [大きさ] アイコンをクリックします。
2. スライダーを左右に動かして好きな大きさを選びます。

縮小画面の自動サイズ調整

このオプションは表示中の縮小画面のサイズをウィンドウに合うように自動調節します。

1. コントロールウィンドウで[表示] [オート]を選択します。
または
ウィンドウ下部の[オート]アイコンをクリックします。

縮小画面の更新間隔を変更する

生徒の行動をモニタする頻度によって縮小画面の更新間隔を調節することができます。

1. コントロールウィンドウから[表示]{更新}を選択します。
または
コントロール下部の[更新]アイコンをクリックします。
2. オプションより間隔を選択します。

アクティブのアプリケーションを表示

有効時は、生徒 PC でどのアプリケーションが現在稼動中かわかるようにそれぞれのサムネイルの左上にアイコンが表示されます。

1. コントロールウィンドウから[表示]{アプリケーションの表示}を選択します。
または
ウィンドウ下部の[アプリケーション]アイコンをクリックします。

アクティブのウェブを表示

各縮小画面の右上に現在生徒がどのサイトを閲覧しているかわかるアイコンを表示します。

注意:この機能は Mac のプラットフォームにだけ対応しています。

1. コントロールウィンドウから[表示]{ウェブサイトの表示}を選択します。
または
ウィンドウ下部の[ウェブサイト]アイコンをクリックします。

画面キャプチャ

画面キャプチャは、画面受信中の現在の生徒画面のスナップショットを撮影でき、先生はファイルに現在の画面の内容を保存することができます。保存時にキャプチャした画面に生徒機名、日付、時間、製品名が記録されます。

画面受信中の生徒画面をキャプチャする

1. 画面受信中に{ツール}{画面キャプチャ}を選択します。
または
ツールバーの[キャプチャ]アイコンをクリックします。
2. 名前を付けて保存画面が表示されます。
3. ファイル名を入力します。
4. ファイルの種類を選択します。(BMP、JPG、PNG)
5. [保存]をクリックします。

生徒に先生の画面を送信する

画面送信機能はコントロールユーザーが選択したクライアントまたはグループに対して自分の画面上に情報を表示することで、学習のキーポイントを強調することができます。

注意： 画面情報は順番に各クライアントに送信されます。環境によってはネットワーク帯域を制限していたり、複数のマシンに画面送信をするとパフォーマンスに影響を与える場合があります。そういった場合は、NetSupport Assist 画面の一斉送信を有効にしてみてください。画面情報を一斉に全クライアントに送信します。

NetSupport Assist で発生するネットワークトラフィック量は減りますが、ネットワークに追加ブロードキャストパケットが発生します。そのため、この機能を使用する前にネットワーク管理者とご相談することをお薦めいたします。

コントロールの画面を見せるには

1. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから{生徒}{画面送信}を選択します。
または
コントロールのツールバーの画面送信アイコンをクリックします。
2. [画面送信]ダイアログ が表示されます。



このダイアログでは、先生の画面を見せる生徒の選択とそれに関連するプロパティを設定します。

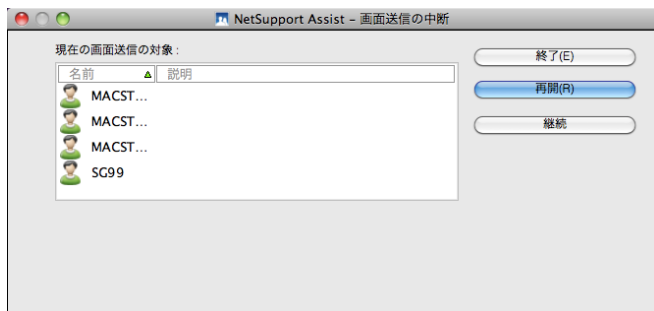
対象の選択

先生の画面を見せる対象となるクライアントを選択します。

注意: ログアウトしている Mac の生徒では画面送信を実行することはできません。

ショーを終了するには

1. NetSupport のボタン、またはタスクバーの [ショー] アイコンをクリックします。
2. ショーダイアログを表示します。



3. [終了] をクリックします。

または

1. タスクバーの NetSupport アイコンを右クリックします。
2. [ショーの終了] をクリックします。

ショー中にバックグラウンドでコントロールが作業できるようにするには

1. タスクバーの NetSupport ボタンをクリックします。
2. ショーダイアログが表示されます。
3. [継続] をクリックします。
4. コントロールウィンドウが表示されタイトルバーに [ショーの一時停止] が表示されます。作業内容をクライアントに見せることなくコントロールのコンピュータで作業を行うことができます。クライアントの画面には、一時停止する前の画面が表示されます。

中断中にショーを再開する

1. ツールバーの [一時停止] をクリックします。
2. クライアントはコントロールで表示されているアプリケーションを正しく見ることができます。
3. コントロールウィンドウにショーダイアログが表示され、そこから [終了]、[一時停止]、[再開] を選択することができます。

一時停止中にショーを終了するには

1. メニューから {クライアント} {ショー終了} を選択します。
2. クライアントは自身の画面に戻ります。

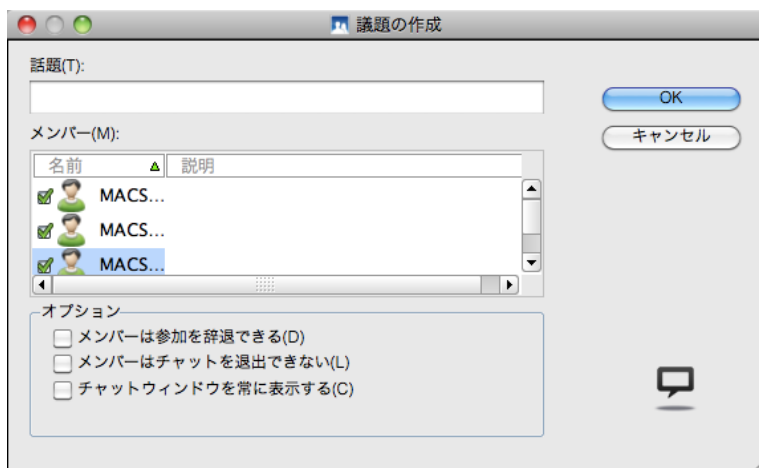
生徒とチャットをする

NetSupport Assist はテキストウィンドウ形式で接続中の生徒と一斉チャットが可能です。

注意: チャットはログアウトしている Mac の生徒では機能しません。

クライアントとチャットするには

1. チャットしたクライアントまたはグループを選択します。生徒アイコンを選択していない場合は、接続しているすべてのクライアントが対象になります。
2. コントロールウィンドウのメニューから{生徒}{チャット}を選択します。
または
コントロールのツールバーのチャットアイコンをクリックし、チャットを選択します。
または
生徒アイコンを右クリックして[チャット]を選びます。
3. [チャット]ダイアログボックス が表示されます。



[チャットプロパティ] ダイアログには次のオプションがあります：

話題

チャット会話の題名または説明を入力します。生徒のコンピュータのチャットウィンドウに表示されます。なにも入力しないと、コントロール名が表示されます。

メンバー

チャットからクライアントを除外するには、生徒名の隣のチェックマークを削除します。

オプション

メンバーは参加を辞退できます

チェックをすると、チャットに詳細しているクライアントコンピュータにメッセージが表示されます。参加か辞退を選択します。

メンバーはチャットを抜けられない

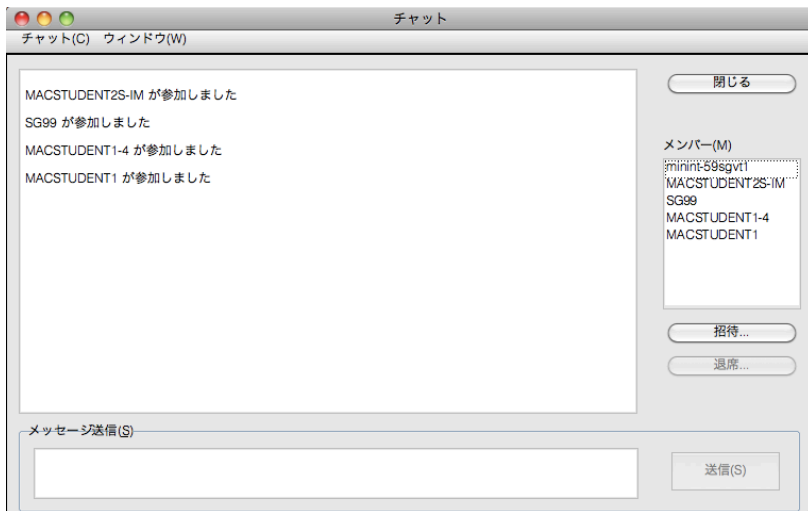
チェックをすると、チャットを辞退するクライアントのオプションは削除されます。

チャットウィンドウを常に表示する

チェックをすると、チャット中はクライアントのデスクトップ上にチャットウィンドウが表示され続けます。メンバーはウィンドウサイズを変更できません。

チャットを開始するには、[OK] をクリックします

4. チャットウィンドウ が先生と生徒に表示されます。



チャットウィンドウ

参加メンバーにこのウィンドウが表示されチャットの進行の一覧が表示されます。コントロールまたはグループリーダーのみがクライアントを追加したり削除したりできます。

チャットプロパティダイアログでオプションを無効にしない限り、クライアントはチャットの退席を選択できます。

チャットウィンドウでは次のオプションが利用できます:-

チャットメニュー

[保存] をクリックすると、チャットの内容をテキストファイルに保存でき、将来 参照できます。テキストを含むファイルを作成するには名前を付けて保存を選択するか、別のアプリケーションかファイル内にチャットの内容を貼り付けるにはコピーを選択します。

各メッセージの文字数は、128 文字以内に制限されます。文字数のリミット到達したら自動的にメッセージを送信するには自動送信メッセージにチェックをしてください。

ウィンドウメニュー

コントロールだけにウィンドウメニューがあります。個のメニューで画面を開いたりタイル表示したりできます。

チャット進行

チャットウィンドウのメインです。これはチャットセッションの進行を記録しています。参加、退室した生徒の詳細やメンバーによって送られたメッセージを管理します。

メッセージ送信

ここにメッセージを入力して、<Enter> キーを押すか、[送信] ボタンをクリックします。各メッセージの文字数は、128 文字以内に制限されます。文字数のリミットに到達するとメッセージを自動的に送信できます。チャットウィンドウのメニューから{チャット}{自動送信メッセージ}を選択します。

閉じる

チャットを終了します。

メンバー

チャットに参加しているメンバーがここにリストされます。先生はチャットセッションから生徒を追加したり削除したりできます。無効にしない限り、クライアントは自分達でチャットを退出するオプションがあります。

招待

チャットプロパティダイアログはチャットセッションの対象クライアントを選択する時に使用します。チャットが進行中にクライアントを追加するには、招待をクリックします。メンバー追加ダイアログが表示されるのでクライアントを選択して追加をクリックします。チャット履歴送信ボックスにチェックをすることで新メンバーにチャットの内容を送信することができます

注意: チャットから除外されたり退室したクライアントを再度招待することができます。

退室

チャットからクライアントを除外するには、メンバーリストでクライアントを選択して退室を選択します。退室させたクライアントを再び招待することも可能です。

注意: 生徒は、クライアントのメニューから[コマンド] [チャット]を選択して、チャットを開始できます。

画面受信中に生徒とチャットをする

1. 画面受信ウィンドウの[ツール] [チャット]を選択します。
2. コントロールとクライアントのコンピュータにチャットウィンドウが表示されます。

チャットを終了するには

1. チャットメニューから[閉じる]を選択します。

注意: NetSupport 製品は「環境依存文字」には対応していません。ファイル名、フォルダ名に「環境依存文字」が含まれるファイル名、フォルダ名をファイル転送する場合、チャットやメッセージ機能でそれらの文字を使用する場合、文字化けなどの問題が発生する可能性があります。「環境依存文字」のご使用にはご注意ください。

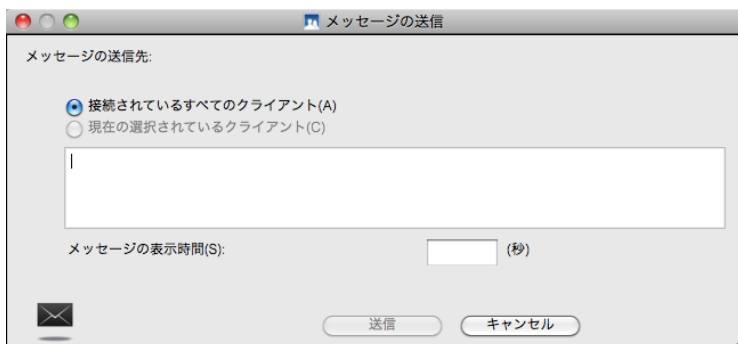
生徒にメッセージを送信する

NetSupport Assist で、すべての接続されている生徒または現在選択されている生徒にメッセージを送信できます。

注意: NetSupport 製品は「環境依存文字」には対応していません。ファイル名、フォルダ名に「環境依存文字」が含まれるファイル名、フォルダ名をファイル転送する場合、チャットやメッセージ機能でそれらの文字を使用する場合、文字化けなどの問題が発生する可能性があります。「環境依存文字」のご使用にはご注意ください。

新しいメッセージを入力して送信するには

1. メッセージを送信したい生徒を選択します。
2. 右クリックして[メッセージ]を選択します。
または
コントロールウィンドウのメニューから[生徒] [メッセージ]を選択します。
または
コントロールのツールバーのメッセージアイコンをクリックします。
3. メッセージダイアログが表示されます。接続されているすべてのクライアントまたは現在選択されているクライアントだけにメッセージを送信するかどうか選択します。メッセージを入力します。生徒の画面にメッセージを表示する時間を入力できます。空欄にした場合は、消さない限り残り続けます。[OK]をクリックします。
4. [送信] をクリックすると、クライアントの画面にメッセージが表示されます。メッセージは、ユーザーはダイアログを閉じるか設定した時間が経過するまで表示されます。



画面受信中にメッセージを送信する

1. 画面受信ウィンドウのメニューから[クライアント] [メッセージ]を選択します
2. メッセージ送信画面が表示されます。
3. メッセージを入力します。

4. [送信]をクリックします。

画面受信中の生徒の画面にメッセージが表示されます。生徒が[OK]をクリックするまで表示され続けます。

電源管理

消費電力は発熱、エネルギー消費の増加に大きく相当します。使用中の数百万台、時には同じ会社や学校内にある数百台のワークステーションの場合、過去 10 年間でエネルギーを節約したいという願望は、マイナーな問題から重要な問題へと成長してきました。

電源管理は、ハードウェアとソフトウェアがシステムの消費電力を低減することができる技術です。ダウンタイムの時間帯にハードウェアの一部をシャットダウンすることで機能します。つまり、必要なときにワークステーションは作業する準備できていて、必要でないときはエネルギーを節約することを意味します。

生徒機の電源を入れる

NetSupport 先生コンソールは、セッション開始時に生徒のマシンの電源をオンにすることができます。この機能は、電源をオンにするようにワークステーションに指示する生徒のネットワークアダプタに Wake-on-LAN パケットを送信することで動作します。これが機能するには、生徒は先生コンソールに認識されていて、次に準備している必要があります：

- Mac の NetSupports 生徒の電源をオンにするには、システム環境設定 > 省エネルギーでオプション「ネットワークアクセスでスリープを解除」を有効にする必要があります。電源オンは Mac がスリープ状態にあるときのみ機能します。完全に電源オフの時のようにネットワークアダプタが無効になっています。

注意: 生徒リストは以前接続したことがある生徒です。

生徒機の電源を入れる

1. 電源を入れたい生徒機を選択します。
2. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから { 生徒 } { 電源管理 -ON } を選択します。
または
コントロールツールバーの管理アイコンをクリックして電源オンを選択します。
3. 生徒のワークステーションは直ちに電源をオンになります。

Mac OS X 10.7.0 生徒の電源オンの詳細については、[ナレッジベース](#)を参照してください。

生徒機の電源を切る

NetSupport は、NetSupport 電源管理機能を使用して先生が生徒のワークステーションをリモートから安全に電源をオフにすることができます。

生徒機の電源を切る

1. 生徒のワークステーションの開いているすべてのアプリケーションが閉じていることを確認してください。
2. 電源を切りたい生徒機アイコンを選択します。
3. メニューで { 生徒 } - { 電源管理 - 電源 OFF } を選択します。
または
ツールバーの { 電源 ON } アイコンの矢印をクリックして { 電源 OFF } を選択します。
または
ツールバーに { 電源 .OFF } アイコンがある場合は、それをクリックします。
4. 生徒のワークステーションは直ちに電源をオフになります。

生徒を再起動またはログアウトする

授業の終了時などに、接続していた生徒機やグループの生徒機をリモートログオフすることができます。次の授業の開始前に、多数のパソコンを一斉にログオフできるので、便利です。

クライアントを再起動またはログアウトするには

1. クライアントまたはグループを選択します。
2. メニューから[生徒] {再起動またはログアウト}を選択します。
または
ツールバーの再起動またはログアウトアイコンをクリックします。
または
選択したクライアントで右クリックし、再起動またはログアウトを選択します。
3. メッセージが表示されたら、[再起動] または [ログアウト] するクライアントを確認します。
4. [はい] をクリックして操作を続行します。

画面受信中にクライアントを再起動 / ログアウトするには

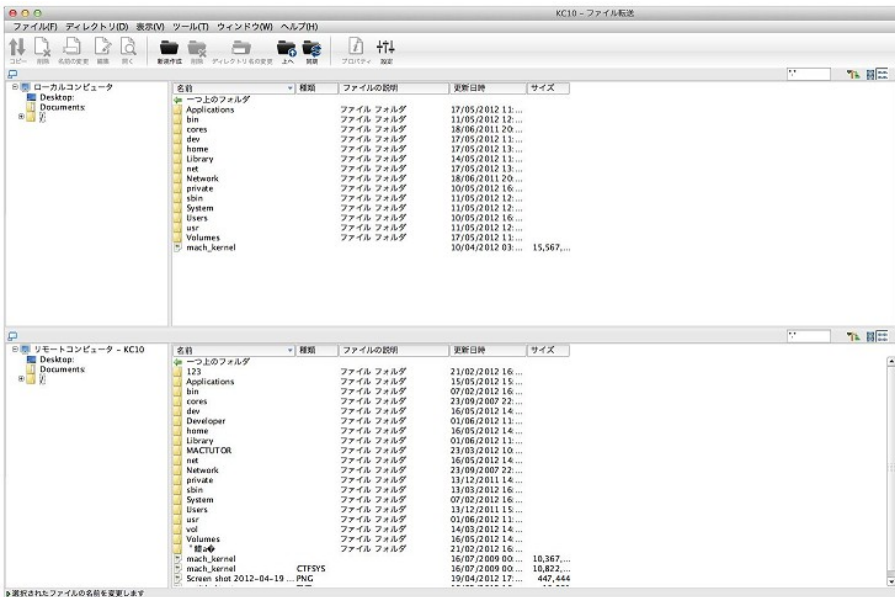
1. ビューウィンドウのメニューから[クライアント] {再起動またはログアウト}を選択します。
2. メッセージが表示されたら、[再起動] または [ログアウト] するクライアントを確認します。
3. [はい] をクリックして操作を続行します。

注意: 再起動はログアウトしている Mac の生徒では機能しません。

ファイルを転送する

NetSupport Assist には、コントロールとクライアントパソコン間でファイルを転送できる高度なファイル転送機能が含まれています。

注意： ファイル転送機能は、ファイル転送ウィンドウのドロップダウンメニューから{表示}{ファイル転送の設定}を選択することで構成を設定することができます。



先生機から生徒機にファイルやフォルダをコピーする

1. ビューリストで生徒機を選択 します。
2. ツールバーのファイル転送アイコンをクリックします。
または
メニューで { 生徒 } { ファイル転送 } を選択します。
または
選択したクライアントアイコンを右クリックしてファイル転送を選択します。
または
クライアントをビュー中の場合は、ビューウィンドウのツールバーでファイル転送を選択します。
3. ファイル転送ウィンドウ が表示されます。
4. 先生機のツリービューでコピー先のドライブ、ディレクトリを選択します。
5. 生徒機にコピーするファイルを先生機のリストから選択します。
6. [ファイルコピー]アイコンをクリックします。

7. 確認画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

注意： 先生機 のビューリストから生徒機のビューリストのドライブやディレクトリへファイルやフォルダをドラッグ&ドロップしてコピーすることもできます。

生徒機から先生機にファイルやフォルダをコピーする

1. ビューリストで生徒機を選択します。
2. ツールバーのファイル転送アイコンをクリックします。
または
メニューで { 生徒 } { ファイル転送 } を選択します。
または
選択したクライアントを右クリックしてファイル転送を選択します。
または
クライアントをビュー中の場合は、ビューウィンドウのツールバーでファイル転送を選択します。
3. ファイル転送ウィンドウ が表示されます。
4. 先生機のツリービューでコピー先のドライブ、ディレクトリを選択します。
5. 先生機にコピーするファイルを生徒機のリストから選択します。
6. [ファイルコピー]アイコンをクリックします。
7. 確認画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

注意： 先生機 のビューリストから生徒機のビューリストのドライブやディレクトリへファイルやフォルダをドラッグ&ドロップしてコピーすることもできます。

生徒機間でファイルを転送する

ファイル転送は生徒間のファイルやフォルダのコピーをすることもできます。それぞれの各生徒機に接続し、それぞれの ファイル転送ウィンドウ を表示しておきます。

ファイル転送画面を見やすいように配置し、クライアント間のファイルとディレクトリをドラッグ & ドロップします。

ファイルとディレクトリを参照するには境界線を移動するか生徒ディレクトリツリーの上にある最大化ボタンをクリックしてください。

ファイルやフォルダを削除する

ファイル転送ウィンドウを使ってコントロールまたはクライアントからファイルやフォルダを削除することができます。

ファイルを削除するには

1. 削除したいファイルを選びます。

2. ツールバーの「削除」ボタンをクリックします。
3. 確認ダイアログが表示されたら、「はい」をクリックします。

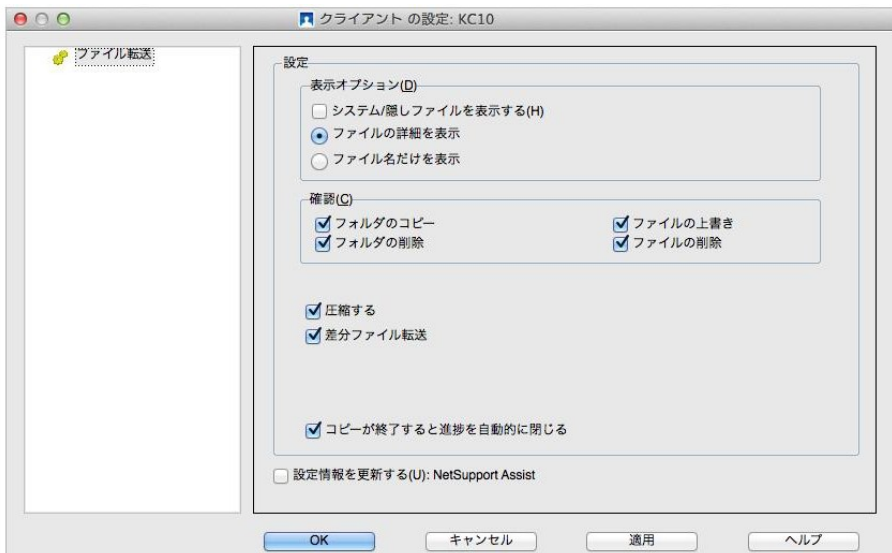
フォルダを削除するには

1. 削除したいフォルダを選びます。
2. ツールバーの「削除」ボタンをクリックします。
3. 「フォルダの削除」ダイアログが表示されます。
4. 「内容(中身)を含む」チェックボックスを選びます。
5. 「はい」をクリックします。

注意: 1 度に複数のフォルダを削除できません。「削除」操作を実行時に一覧表示で複数のフォルダを選択した場合、最後に選んだフォルダだけが削除されます。

先生コンソールのファイル転送設定

NetSupport Assist 内でファイル転送の設定を構成することができます。ファイル転送ウインドウのドロップダウンメニューから、[表示] [設定 - ファイル転送]を選択するか、ツールバーの設定アイコンをクリックします。ここでは、情報の表示方法を変更したり、危険な操作を実行する前に確認するなどの安全機能を設定することができます。



表示オプション

システム/隠しファイルの表示

システムおよび隠し属性を持つすべてのファイルを表示するには、このボックスにチェックを付けます。デフォルトでは、このオプションはオフになっています。

ファイル詳細表示

一覧表示内の各ファイルの情報を複数の列で表示するには、このオプションを選択します。これらはファイルのサイズと更新日を表示します。ファイル転送のユーザーインターフェイスの表示スタイルボタンを使用して、この状態とファイル名だけの状態に切り替えることができます。

ファイル名だけ表示

ファイル一覧にファイル名だけを表示するには、このオプションを選択します。ファイルの詳細よりも、より多くのファイルを同時に表示することができます。

確認

フォルダやファイルを削除するような危険を伴うファイル操作を実行するときに、コントロールに確認ダイアログボックスを表示させることができます。これによりデータの偶発的な損失を防ぐことができます。ユーザーインターフェイスに精通している場合は、必要に応じて、これらのオプションをオフにすることができます。デフォルトでは、すべての確認設定がオンになっています。

フォルダのコピー

フォルダ構造をコピーする前に、ユーザーに確認します。

フォルダの削除

フォルダ構造を削除する前に、ユーザーに確認します。

ファイルの上書き

チェックが付いている場合、既存のファイルを上書きする前に確認ダイアログが表示されます。チェックが付いていない場合でも、システム/隠しファイルが上書きされる場合は、確認メッセージが引き続き表示されます。

ファイルの削除

1 つまたは複数のファイルを削除する前に確認ダイアログが表示されます。

圧縮を使用

圧縮の使用を有効にするには、このボックスにチェックを付けます。クライアントとの通信時にファイル転送、画面受信またはチャットセッションに関わらず、送受信されるデータは圧縮されます。データも暗号化されるので、セキュリティの一つの手段を提供します。

差分ファイル転送

差分ファイル転送は、変更されていない情報の転送をスキップすることでパフォーマンスを向上させます。転送されるファイルが既に送り先のフォルダに存在する場合は、ファイルの変更部分だけが更新されます。

差分ファイル転送は、デフォルトで有効になっています。

優先順位(同時に画面受信している場合)

同時にクライアント画面の表示とファイルを転送している場合は、それぞれの操作は、他のパフォーマンスに影響を与えます。画面受信の反応をよくさせるにはファイル転送操作の優先順位を減らします。またその逆も同じです。ファイル転送に高い優先順位を与えるには左に、クライアント画面受信に高い優先順位を与えるには右に、コントロールをスライドさせます。クライアントの画面を表示していない場合は、この設定は無視されます。

コピーが完了したら、進捗画面を自動的に閉じる

完了時にファイル転送の進捗ダイアログを自動的に閉じます。ファイル転送の結果を確認したい場合は、このオプションのチェックを外します。

教材の配布と回収

教材の配布/回収機能はドキュメント単体または複数のドキュメントを接続しているすべてのクライアントワークステーションに送信することができます。また、レッスン中に生徒が使用したそれらの教材をレッスン終了時に自動で回収することもできます。

教材を配布する

生徒に準備した教材を配布するには、2通りの方法があります。

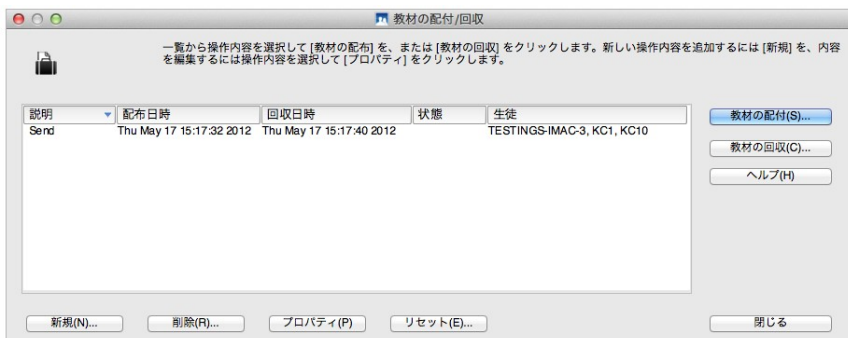
- クイック配布 接続中の生徒全員または特定のグループの生徒に教材を配布する一回限りの操作には便利です。
- 拡張配布は定期的に実行する操作のプロパティを保存することができます。

教材をクイック配布する

1. {ファイル} {教材の配布/回収} {クイック配布}を選択します。
または
コントロールツールバーの[配布/回収]アイコンをクリックして、教材配布を選択します。
2. クイック配布画面が表示されます。
3. 生徒に配布するファイルリストを参照します。ファイルはフルパスが必要になります。ワイルドカードも使用できます。セミicolon(;)で区切り複数のファイルを指定する事もできます。
または
[参照]ボタンをクリックしてファイルの場所を指定します。
4. 生徒機 の教材のコピー先フォルダを指定します。存在しなければ、新規のフォルダが作成されます。
5. [配布] をクリックします。
6. 操作の結果が表示され、教材が正しく配布されたか確認できます。

拡張配布で教材を配布する

1. メニューから[ファイル]{教材配布/回収}{拡張}を選択します。
または
コントロールツールバーの[配布/回収]アイコンをクリックして、教材配布を選択します。
2. [教材の配布 / 回収]ダイアログボックスが表示されます。



3. 一覧から操作を選択し「教材の配布」ボタンをクリックします。「生徒を選択」ダイアログが表示されます。

または
「新規」ボタンをクリックし、ウィザードを使って新しい配布/回収操作を作成します

教材を回収する

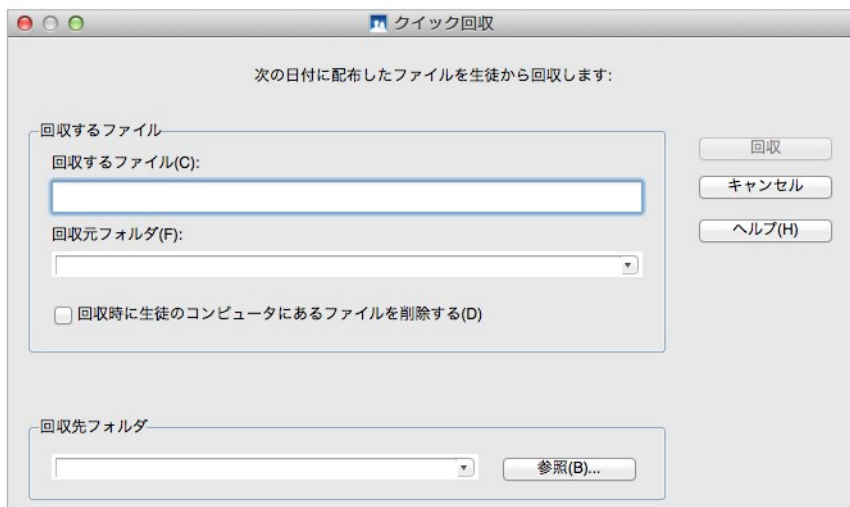
作業済みの教材を回収するには 2 通りの方法があります。

クイック回収 クイック配布 した教材が記憶されており、授業の最後などに素早く簡単に教材を回収できます。

拡張回収 は事前に定義した配布/回収操作の一覧から取得するファイル(複数可)を選択することができ、より大きな柔軟性を提供します。

教材をクイック回収する

1. メニューで[ファイル]{教材配布/回収}{クイック回収}をクリックします。
または
ツールバーの[配布/回収]アイコンをクリックして[教材回収]を選択します。
または
[教材回収]アイコンがある場合は、それをクリックします。
2. [クイック回収]ダイアログボックスが表示されます。



3. 回収するファイル名を入力します。例: *.* または Test1.TXT;Test2.TXT
4. ファイルが保存されているフォルダを指定します。例: /TEMP や回収後に生徒機からフォルダの削除も行えます。
5. 回収した教材を保存する先生コンソールのフォルダを指定します。例: /TEMP
6. [回収]ボタンをクリックします。
7. 操作の結果が表示され、教材が正しく回収されたか確認できます。

拡張回収で教材を回収する

1. メニューから[ファイル]{教材配布/回収}{拡張}を選択します。
または
コントロールツールバーのドロップダウンアローの[配布/回収]アイコンをクリックして[配布/回収]を選択します。
2. [教材の配布 / 回収]ダイアログボックス が表示されます。
3. リストから選択して、[教材の回収]をクリックします。
4. 生徒機の実行画面が表示されます。ファイルを回収したい生徒機を選択します。
5. [OK]をクリックします。
6. 操作の結果が表示され、教材が正しく回収されたか確認できます。

配布/回収操作の作業を変更する

教材の配布/回収作業の情報(説明やファイルの場所など)を、ダイアログボックスで管理できます。

配布/回収作業の情報を変更する

1. メニューで[ファイル]{教材の配布/回収}[拡張]を選択します。
または
ツールバーの[教材配布]アイコンの矢印をクリックして[配布/回収]を選択します。
または
[配布/回収]アイコンがある場合は、それをクリックします。
2. [教材の配布/回収]ダイアログボックスが表示されます。
3. 一覧から作業を選択して、[プロパティ]ボタンをクリックします。
4. [プロパティ]ダイアログが表示されます。
5. 変更したら[OK]をクリックします。

ウェブ監視

NetSupport Assist では、接続されている生徒たちによって閲覧されているウェブサイトを確認することができます。

注意:

- インターネットの監視は Mac のプラットフォームにだけ対応しています。
- すべての生徒たちに対してインターネットのアクセスを遮断することができます。コントロールツールバーのすべて遮断アイコンを選びます。



リストビューではいくつかの異なる方法で生徒アイコンを表示させることができます。[表示] {縮小画面モード/詳細モード} を選択するか、リストビュー内で右クリックして生徒アイコンの表示の仕方を変更します。

- コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから[表示] {アクティブウェブサイトを表示}を選びます。
または
コントロールウィンドウの下部にあるウェブサイトアイコンをクリックします。
- 現在の生徒のアクティビティを先生に通知するアイコンが生徒の縮小画面の右上に表示されます。

リストビューが詳細表示の場合は、生徒機で稼働中のその他のウェブサイトのリストも表示されます。

インターネットへのアクセスを制限/禁止

NetSupport Assist では接続されているすべての生徒たちに対してインターネットのアクセスを制限することができます。

すべてのウェブアクセスを遮断する

1. ツールバーのすべて遮断アイコンをクリックします。
または
コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから{生徒}{インターネット遮断}を選びます。
2. すべての生徒たちに対してウェブアクセスが遮断されます。

注意: 詳細モードまたはアンケートモードでは、インターネットの使用が中断されていることを確認するために生徒アイコンの隣にインジケータが表示されます。

アプリケーション監視

NetSupport Assist では、接続されている生徒たちによって使用されているアプリケーションを監視することができます。



生徒機で現在稼働中のアプリケーションを特定する

リストビューではいくつかの異なる方法で生徒アイコンを表示させることができます。[表示] {縮小画面モード/詳細モード} を選択するか、リストビュー内で右クリックして生徒アイコンの表示の仕方を変更します。

1. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから[表示] {アクティブのアプリケーションを表示} を選びます。
または
コントロールウィンドウの下部にあるアプリケーションアイコンをクリックします。
2. 生徒のマシンで現在アクティブになっているアプリケーションを示すアイコンが各縮小画面の左上に表示されます。

一覧表示が「詳細モード」の場合、生徒ワークステーションで実行中の他のすべてのアプリケーションの一覧も表示されます。

名前	アドレス	ユーザー名	現在の実行中のアプリケーション	起動中のアプリケーション	現在のウェブサイト	すべてのウェブサイト
MACSTUDENT1	> 10.20.0.100:5405 (mac...)	testing				
MACSTUDENT1-4	> 10.20.0.233:5405 (mac...)	testing				
MACSTUDENT25-M	> 10.20.0.124:5405 (mac...)	testing	Calculator			
SC99	> 10.20.0.234:5405 (sg99)	testing	Apple			
			NetSupportAssist			

アンケート

アンケートツールは授業中もしくは終了時に生徒から簡単なフィードバックを得ることができます。先生は簡単な質問を接続している生徒に送信します。生徒の回答を回収して全体のパーセンテージまた生徒ごとの結果を表示します。生徒に結果を見せることができます。但し、結果を表示する前に生徒たちは応答しなくてはなりません。



注意: アンケートはログアウトしている Mac の生徒では機能しません。

アンケートを生徒に送信する基本的な手順:

1. コントロールウィンドウのメニューから[生徒][アンケート]を選択します。
または
ツールバーからアンケートアイコンを選択します。
2. アンケートを実施する生徒を選択します。リストビュー中の全生徒、選択した生徒またはグループが対象となります。ボックス内に質問を入力します。
3. 質問の回答を選択します。デフォルトのリストから選択するかあなた自身のオプションをカンマで区切って入力できます。最大 6 択まで入力できます。
4. コントロールウィンドウのメニューから[表示][送信]を選択して生徒にアンケートを送信します。
または
アンケート画面下部に表示されている[アンケート送信]アイコンをクリックします。
5. 生徒 PC でダイアログが開き、質問と回答が表示されます。
6. 生徒が回答を提出すると、アンケート結果が各オプションのパーセンテージの回答を表示します。クライアントアイコンは各生徒がどのように答えたかを表示します。

7. アンケートが完了したらコントロールウィンドウのメニューから[表示] [キャンセル]を選択して画面から削除します。
または
アンケート画面下部に表示されている[キャンセル]アイコンをクリックします。

注意: 生徒が回答したしないに関らず全ての PC からアンケートが消去されます。

アンケート結果を生徒に表示する

1. コントロールウィンドウのドロップダウンリストから[表示] [結果を生徒に表示]を選択します。
または
コントロールウィンドウ下部の[結果]アイコンをクリックします。
2. 生徒たちの画面に結果が表示されます。

注意: アンケートの結果は、生徒が自分の回答を提出した場合だけ、表示されます。

アンケート結果を保存する

アンケートは、CSV ファイルに保存できます。

1. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから[表示] [結果を保存]を選択します。
または
アンケート画面下部の[保存]アイコンをクリックします。

アンケートリスト

アンケートリストに追加すれば、アンケートを再利用できます。異なる問題のタイプでカテゴリー分けしたい場合はカスタムリストを作成します。デフォルトリスト NetSupport Assist.sul に質問と回答を自動的に保存します。

アンケートリストを作成する

1. アンケート表示に切り替えるには、ツールバーのアンケートアイコンをクリックします。
2. アンケートビューモードのコントロールウィンドウのメニューから[表示]{新規作成}を選択します。
または
アンケート画面下部の[新規]アイコンをクリックします。
3. ファイル名を入力して[作成]をクリックします。
4. 入力した新しいアンケートがこのリストに追加されます。

アンケートリストを開く

1. アンケートビューのコントロールウィンドウのメニューから[表示]{開く}を選択します。
または
アンケート画面下部の[開く]アイコンをクリックします。
2. リストを選択して[開く]をクリックします。

アンケートリストを使用する

開いたアンケートリストに新しい質問を入力したり以前保存した質問や回答の使用/管理できます。

アンケートリストに新しい質問を追加するには

1. アンケート画面で質問を入力してドロップダウンリストから必要な回答を選ぶか、デフォルト回答が適切でなければ、新たに選択肢を追加します。
2. 生徒にアンケートを送信します。アンケートは自動的に現在開いているリストに保存されます。
または
コントロールウィンドウのメニューから[表示]{リストに追加}を選択します。または、アンケート画面下部に表示されている[追加]アイコンをクリックして今後も使用できるように質問と回答を保存します。

既存のアンケートを使用するには

1. アンケート画面で質問選択/追加アイコン(緑の十字)をクリックします。質問選択ダイアログが表示されます。
2. リストから質問を選択して[OK]をクリックします。
3. アンケート画面に生徒に送信できる質問が表示されます。

質問と回答を管理するには

既存のアンケートを選択できるだけでなく、質問選択ダイアログは新しい質問/回答を追加、またはそれらを編集することができます。

1. アンケートリストに該当する質問が現在ない場合は、回答と一緒に新しい質問を入力して追加をクリックします。

または

既存の質問を編集するには、リストから選択して質問または回答を変更して[追加]をクリックします。

注意： 質問を変更した場合、オリジナルの追加としてリストに追加されます。回答だけを変更した場合はオリジナルを上書きします。

2. アンケートで質問を使用するには、リストから選択して[OK]をクリックします。
3. アンケート画面に生徒に送信できる質問が表示されます。

注意： アンケートでカスタム回答を使用する場合は質問にのみ添付されます。他のアンケートでも回答を使用したい場合はリストに追加する必要があります。[管理]をクリックすると、回答管理ダイアログが表示されます。必要な回答を入力して[追加]をクリックします。

生徒のコンピュータを設定する

生徒機を設定するときは、生徒機で NetSupport Assist プログラムグループの中にある NetSupport Assist クライアント設定プログラムを起動します。

クライアント設定には 3 つのオプションがあります：

全般

部屋モードを使用時にクライアントの接続先を指定します。

ユーザーインターフェイス

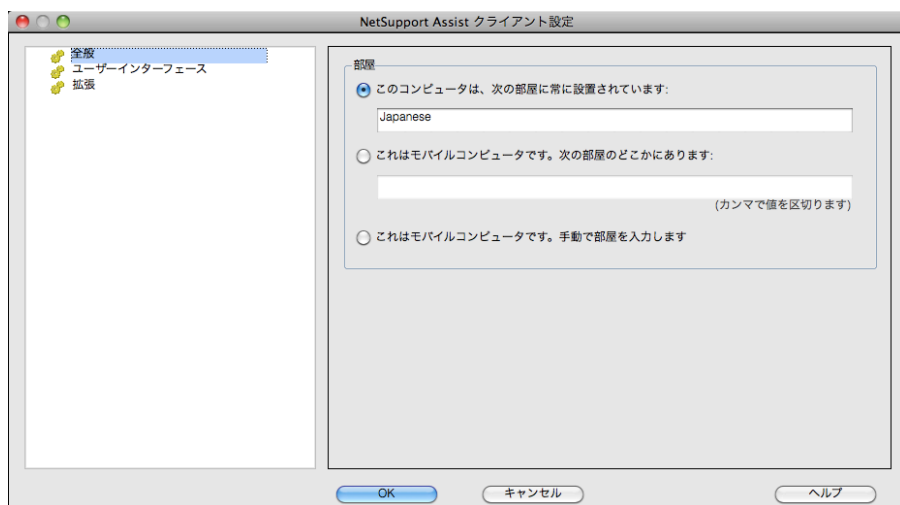
生徒機と先生コンソールのインターフェイスをカスタマイズします。

拡張

クライアント用のネットワークプロトコルを設定できます。コントロール側と同じ設定でなくてはなりません。

生徒の全般設定

部屋モードで接続するときの生徒用の部屋の設定を指定できます。



このコンピュータは次の部屋に常に設置されています：

コンピュータが同じ部屋にいつも配置されている場合は、このオプションを選んで部屋の名前を入力します。

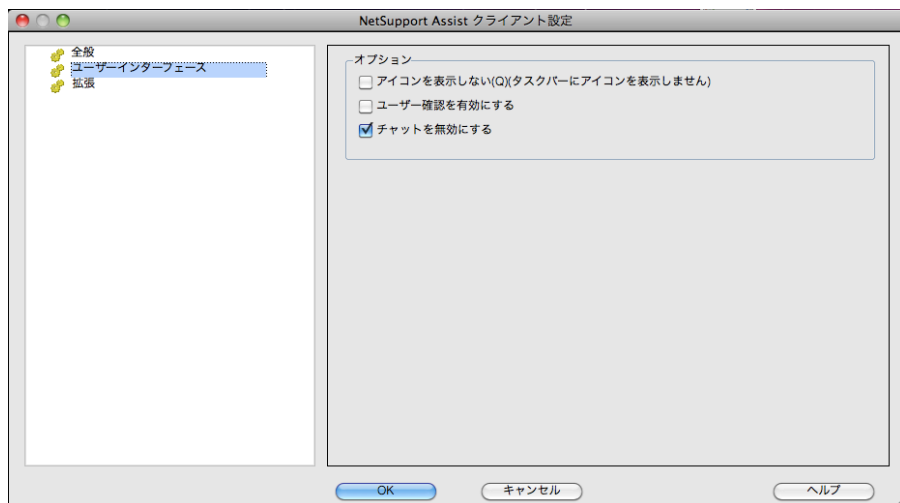
これはモバイルコンピュータです。次の部屋のどれかにあります：

コンピュータが異なる部屋に配置される場合は、このオプションを選び、部屋の名前を入力し、カンマで各値を区切ります。

これはモバイルコンピュータです。手で部屋を入力します

コンピュータがモバイルコンピュータの場合は、このオプションを選びます。生徒はタスクバーの生徒アイコンから手で部屋の名前を入力するオプションが与えられます。

生徒ユーザーインターフェイス設定



オプション

アイコンを表示しない

チェックをすると生徒プログラムは起動していても生徒のパソコンにはアイコンが全く表示されません。生徒が誤って生徒プログラムを実行したり、手動でプログラムを停止してしまうことを防ぎます。

ユーザー確認を有効にする

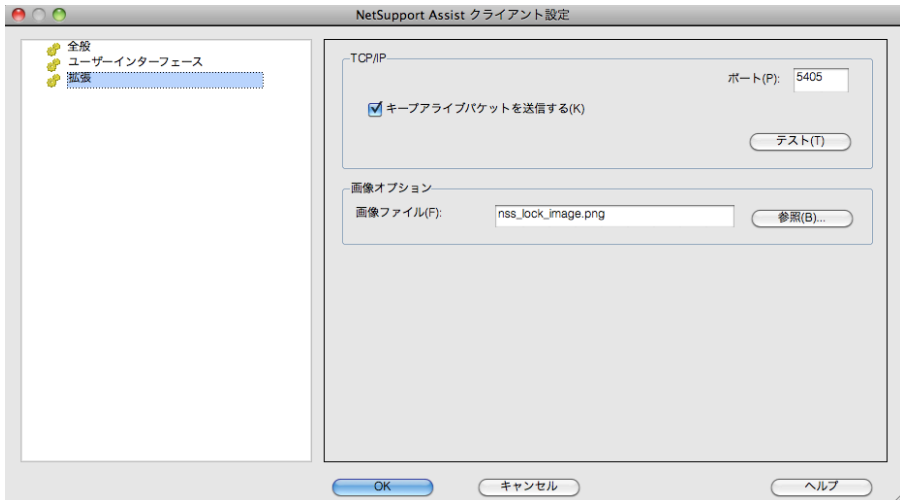
有効時は生徒が接続を許可しない限り、先生はリモートコントロールを行うことができません。

チャットの禁止

生徒がチャット機能を使用できないようにします。

生徒機の拡張設定

このプロパティシートでは、クライアントのネットワークランスポートを設定することができます。コントロールで設定した内容と同じでなければなりません。



TCP/IP

ポート

TCP/IP プロトコル では、通信するアプリケーションにポート番号が割り当てられていないてはなりません。NetSupport Assist のデフォルトの登録ポート番号は 5405 です。

キーブライブパケットを送信する

TCP のスタックには、定期的にチェックパケットを送信して、接続エラーを検出しているものがありますが、ご使用の環境によっては、これを無効にした方がよい場合があります。例えば、生徒機が ISDN 回線を使って接続する場合、チェックパケットが送信されるたびに回線が接続されてしまうと不経済です。そのような場合は、このボックスのチェックを外します。

注意:

- ルーターを使用している場合は、このポート番号を使用するデータが通過するように設定されていることを確認してください。
- ポート番号の変更は他の TCP/IP アプリケーションと競合する場合があります。

[テスト]ボタンをクリックすると、生徒機に TCP/IP プロトコルが正しくインストールされているかどうかをテストできます。

画像オプション

画像ファイル

生徒機のキーボードとマウスをロック中はデフォルトの画像 (NetSupport Assist_lock_image.jpg) が画面に表示されます。画像ファイルを使用して表示させることができます。

注意: 画像を表示したくない場合は、コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから {ファイル} {環境設定 ユーザーインターフェース} を選択し、「マウスとキーボードをロックするときは画面をブランクにする」を選ぶことでオプションを無効にすることができます。

先生コンソールを設定する

先生コンソールを設定するときは、コントロールウィンドウで[ファイル]メニューの[設定情報]をクリックします。

先生コンソールの設定は 4 つのオプションがあります：

全般

先生コンソールが生徒機との通信に使用するネットワークプロトコルを設定します。生徒機と同じプロトコルを選択してください。先生の名前や説明を設定することもできます。

開始オプション

先生コンソールの開始オプションを指定することができます。また様々なモードのアクセスレベルを設定することもできます。

パフォーマンス

画面受信または画面送信を実行するときに、ネットワーク上で送信されるデータ量を下げ
るための低帯域設定を設定することができます。

ユーザーインターフェース

コントロールとクライアント間でオプションをカスタマイズすることができます。

先生の全般設定

先生コンソールが生徒機との通信に使用するネットワークプロトコルを設定します。生徒機と同じプロトコルを選択してください。先生の名前や説明を設定することもできます。

先生の確認

先生コンソールの設定をパーソナル化するにはこれらのオプションを使用します。

コントロール名

ネットワークで先生コンソールを識別するための名前を設定します。アスタリスク(*)を設定すると、コンピュータ名になります。

説明

先生コンソールに関する説明を設定します。生徒機のタイトルバーに表示されます。

TCP/IP 設定

ホスト名による接続 (DHCP/DNS ホスト名)

通常、先生コンソールはホスト名ではなく、IP アドレスを使って生徒機に接続します。DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol: 動的ホスト構成プロトコル) が使われている環境では、生徒機が再起動するときにアドレスが変更される場合があるため、IP アドレスで接続できなくなる恐れがあります。このボックスをチェックしておくと、先生コンソールはホスト名を使って生徒機に接続するようになります。

ポート

TCP/IP では、通信を行うアプリケーションにポート番号が割り当てられていなくてはなりません。NetSupport Assist のデフォルト登録ポート番号は 5405 です。

注意: ルーターをお使いの場合は、このポート番号を使用するデータが送受信されるように、ルーターも設定しておいてください。

検索

サブネットを使って生徒機を検索する

複数のサブネットやアドレスを使用しているネットワーク環境ではブロードキャストアドレスを設定します。検索時にブロードキャストメッセージが全アドレスに送信されます。

検索を高速化する

クライアントの検索と接続スピードが向上します。これはデフォルトで設定されています。

画面送信の配信を有効にする

コントロールの画面をクライアントに表示する場合、画面の情報は順番にクライアントに送信されます。[画面送信の配信を有効にする]を有効にすると、すべてのコンピュータに画面情報を一斉送信します。ネットワークの帯域が制限されているネットワーク環境や不特定多数のコンピュータにコントロール画面を表示する場合、明らかなパフォーマンスが得られます。

NetSupport Assist で作成されたネットワークトラフィックは減りますがあらたにブロードキャストパケットを作成します。この機能を使用する場合は、必ずネットワーク管理所に確認することをオススメします。

設定

画面送信の配信が有効な場合は、このオプションを選択してブロードキャストアドレスを設定します。ブロードキャストダイアログが表示されます。

ワイヤレスネットワーク

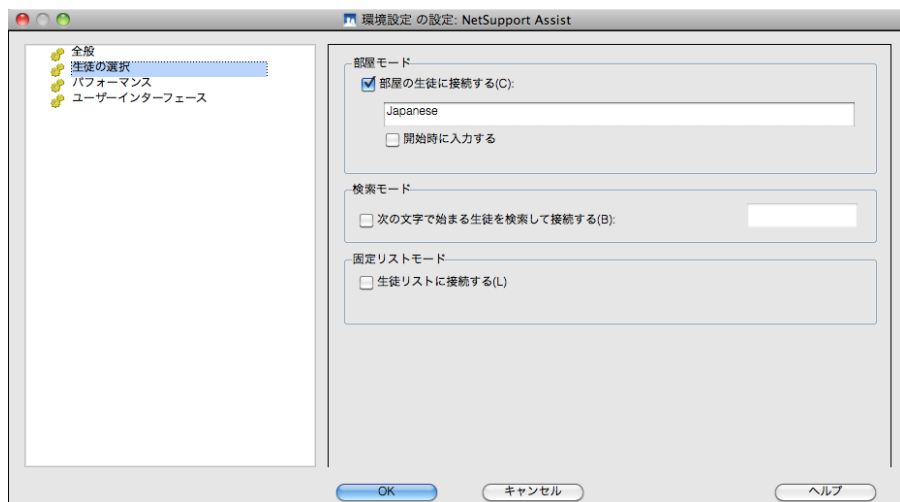
ワイヤレスネットワーク越しのショーパフォーマンスを最適化するには、このオプションをクリックします。

アクセスポイントの速度

お使いのワイヤレスアクセスポイントに最適なデータ転送率を選択します。

生徒の選択設定

先生コンソール起動時に生徒が接続する部屋を事前に設定するには、これらのオプションを使用します。



部屋モード

部屋内の生徒に接続する

特定の部屋にあるコンピュータに接続できます。接続したい部屋を指定します。

開始時に入力する

先生コンソール起動時に部屋を指定します。

注意: NetSupport Assist クライアント設定の生徒の選択項目で部屋を設定できます。

検索モード

次の文字列で始めるクライアントを検索して接続する

指定した文字列で始まるすべてのクライアントに接続します。一度接続した生徒のコンピュータは、生徒リストに保存されます。

固定リストモード

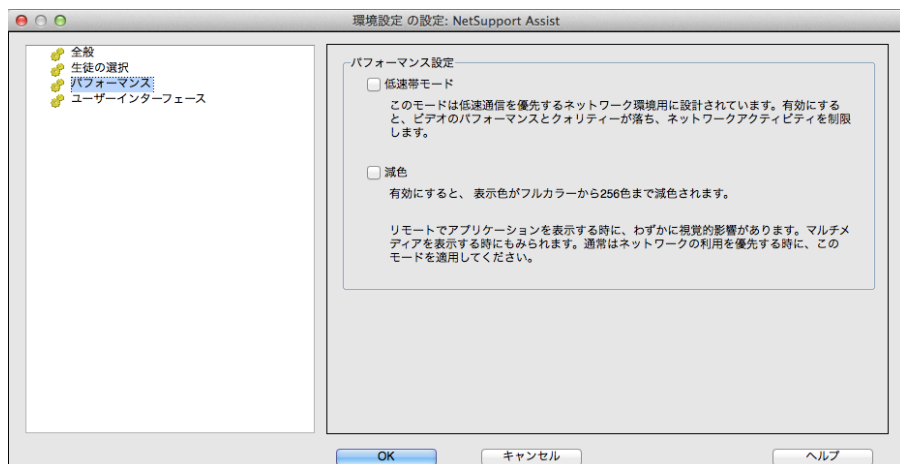
生徒リストに接続する

このボックスにチェックをすると、NetSupport Assist は生徒リストのクライアントのみ接続します。

注意: クライアントが見つからない場合は、そのネットワークを検索するように NetSupport Assist が設定されていない場合があります。詳しくは、本マニュアルの「サブネット検索できるようにする」を参照してください。

先生コンソールのパフォーマンス設定

ネットワークで低速データを送信するように低速通信と減色を設定します。



低速帯モード

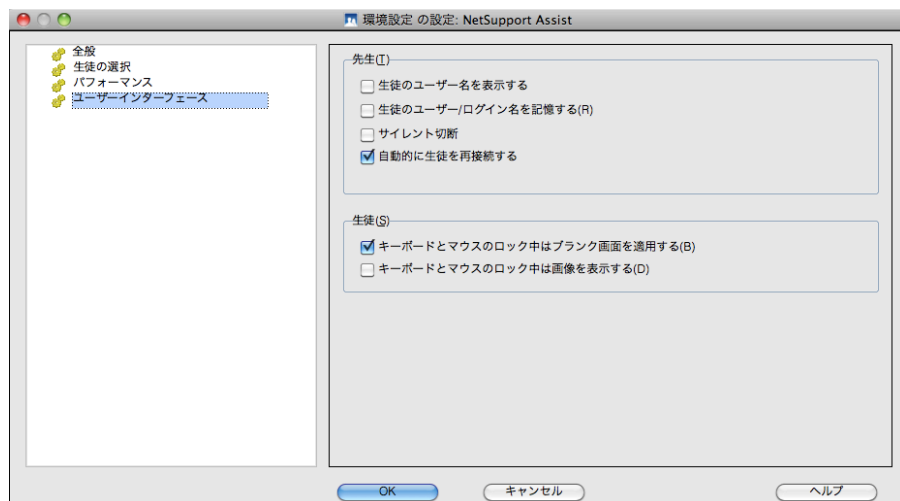
このモードは低速通信を優先するネットワーク環境用に設計されています。有効にすると、ビデオのパフォーマンスとクオリティーが落ち、ネットワークアクティビティを制限します。

減色

有効にすると、表示色がフルカラーから 256 色まで減色されます。

リモートでアプリケーションを表示する時に、わずかに視覚的影響があります。マルチメディアを表示する際にもみられます。通常はネットワークの利用を優先する時に、このモードを適用してください。

先生コンソールのユーザーインターフェイス設定



先生コンソール

生徒のユーザー名を表示する

生徒登録を実行時にクライアントのログイン名を取得してコントロールウィンドウに表示させる場合は、このオプションにチェックをしてください。

生徒のユーザー名/ログイン名を記憶 する

生徒リストの生徒のユーザー/ログイン名を保存する場合はこのオプションにチェックをします。

サイレント切断

セッション中にコントロールからクライアントが誤って切断すると先生コンソールにプロンプトが表示されます。この警告を禁止する場合は、このオプションにチェックをします。

生徒に自動再接続

生徒が誤って切断してしまった場合、自動的にリモートコントロールセッションに再接続します。

生徒

キーボード / マウスロック時はブランクにする

キーボード / マウスをロックした時にクライアントの画面をブランクにします。

キーボード / マウスのロック時に画像を表示する

キーボード / マウスをロックした時にクライアントの画面に画像を表示します。クライアント設定 - 生徒機拡張設定 ダイアログでファイルの保存先を指定して画像を変更します。

ご意見・ご感想

本マニュアルのデザイン、説明、操作方法などに関するご意見・ご感想は下記までお願いいたします。

ハードウェア、ソフトウェアのあらゆる可能な組み合わせで本製品をテストできるというわけではありません。したがって、お客様にご不便をお掛けすることがあるかもしれません。ご理解とご了承をお願いいたします。

UK & インターナショナル

ホームページ: www.netsupportsoftware.com

テクニカルサポート: support@netsupportsoftware.com

セールス (UK & アイルランド): sales@netsupportsoftware.co.uk

セールス (インターナショナル): sales@netsupportsoftware.com

北アメリカ

ホームページ: www.netsupport-inc.com

テクニカルサポート: support@netsupport-inc.com

セールス: sales@netsupport-inc.com

カナダ

ホームページ: www.netsupport-canada.com

テクニカルサポート: support@netsupportsoftware.com

セールス: sales@netsupport-canada.com

ドイツ, オーストリア, スイス

ホームページ: www.pci-software.de

テクニカルサポート: support@pci-software.de

セールス: sales@pci-software.de

日本

ホームページ: www.netsupportjapan.com

テクニカルサポート: support@netsupportsoftware.com

セールス: sales@netsupportjapan.com